

家族と個人

家族が個人に求めるものと
個人が家族に求めるものと



「北海道のどうぶつたち」太田宏介 2022年

私たちは生を受け、生まれ育ち、働き、老いて死ぬわけですが、大会では、「生まれ育つ」者、「老いて死ぬ」者のいる家族をめぐる課題を取り上げます。また「働く者のメンタルヘルス」を学び、「支援者のメンタルヘルス」について、特別講演や理事長セミナー、シンポジウムでじっくり話し合いたいと思います。同時に、依存症当事者の語りから、ひとりひとりが感じ、皆で考えることができると嬉しいです。「家族のライフサイクル」と「支援者の支援」をキーワードに、12月初めの週末、オンラインでお会いしましょう。

特別講演

「思いやる心は傷つきやすいケアする者へのケアの必要性」

武井 麻子（日本赤十字看護大学名誉教授）

対人援助職にとって、「思いやり」はなくてはならないものと思われている。確かに、傷ついた人、苦しむ人を見たとき、たいいていのかかわりそうに思い、「どうにかしてあげたい」という気持ちになる。しかし他方で、あまりに衝撃的な場面を見れば、「怖い」と思い、逃げ出したくなるのも事実だろう。つまり、思いやりは、ひとに独特の葛藤を引き起こす心理的ストレスなのである。とくに、対人援助を職業として日常的に行う場合、そうしたストレスに慢性的にさらされることになる。この講演では、コロナ禍での臨床現場に起きたことを振り返りながら、「思いやる心」が働く人と組織にどのような影響を及ぼすのかについて、考えていきたい。



会長講演

「わたしたちのライフサイクルとケアの仕事、精神療法過程など」

上別府 圭子（国際医療福祉大学大学院家族看護学領域教授）

ここにいる私は、これまで暮らしてきた歴史のある私であり、また同時に、いくつかのコミュニティに属して活動している（‘家族’や‘大学’や‘法人’など）。それはあなたも同じ。そんなわたしたちが、今ここで出会って、影響を及ぼし合っている。精神療法における治療者とクライアント（または家族）にも、同様のことが言える。私は大学院生のころから、治療者のライフサイクルと精神療法過程に関心をもって、かつて自分の妊娠中に受け持っていた27事例の精神療法過程を詳細に分析したことがある。Person of the therapist (POTT) にも刺激されて、「わたしたちのライフサイクルと仕事」のテーマを精神療法家の視点で再考する。久々の挑戦である。



大会イメージ「北海道のどうぶつたち」

作者の太田宏介さんは自閉症をもちながら、お兄さんの信介さんとタグを組んでご活躍の画家さんです。この絵の持つ温かさに魅せられて、第39回大会の準備に際して一番に、太田さんをお願いをして使用させていただいています。

2023 年

会 期

12月2日(土)・3日(日)

開催方法

オンライン (Zoom)

大会長：

上別府 圭子

(国際医療福祉大学大学院家族看護学領域)

事務局長：

高下 梓

(松本看護大学看護学部)

シンポジウム

「子どもと家族の安全・安心と成長」

- 三木 馨（西日本こども研修センターあかし）
児玉 久仁子（家族看護実践センター/福島県立医科大学
医学研究科博士課程）
三浦 雅子（かながわ移行期医療支援センター/北里大学大学院
医療系研究科）

「人生の最終段階をいかに生き、いかに死ぬか」

- 宮本 典子（マエケンカウンセリングセンター）
吉野 淳一（日本医療大学保健医療学部看護学科）
近藤 和子（マザーリング & ライフマネージメント研究所）

「今、支援者のメンタルヘルスを守るためにできること」

- 中嶋 義文（三井記念病院精神科）
蜂須賀 智子（地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センター
東千葉メディカルセンター）
三木 明子（関西医科大学看護学部・看護学研究科）

教育講演

「アルコール・薬物依存症からのリカバリー ー当事者の語りから紐解く依存者のリアル」

- 渡邊 洋二郎（リカバリハウスいちご）

教育講演（認定産業医研修 単位取得可能）

「労働者の睡眠と健康」(※)

- 影山 隆之（大分県立看護科学大学）

「労働者の健康問題と労災認定ー精神障害を中心に」(※)

- 廣 尚典（産業医科大学名誉教授）

「産業医のための職場復帰支援の在り方」(※)

- 大西 守（公益社団法人 日本精神保健福祉連盟）

(※) 認定産業医研修登録の方

- ・12/3（日）午前
- ・現地（クロス・ウェーブ府中）にて受講必須
- ・生涯研修（専門）3単位

（その他の方はWebでご参加ください）

参加費

- ・Web大会：会員5千円、非会員6千円、学部生・院生2千円
- ・認定産業医研修医+Web大会：6千円、先着50名
- ・イブニングセミナー：別途3千円、A・Bともに先着30名
（事例研究） Web大会登録と併せてお手続きください

参加登録方法

- ・大会HPの「参加登録」よりお申し込みください
- ・「Payvent」でのオンライン登録・支払をお願いいたします

各種単位・ポイント

日本精神神経学会専門単位（B群3単位）・臨床心理士資格
更新ポイントが申請可能

理事長セミナー

「MCRTの先にある課題ー支援者の支援と学会の役割」

- 影山 隆之（日本精神衛生学会理事長）
後藤 成人（大分県立看護科学大学）
瀬戸屋 希（聖路加国際大学大学院）
指定討論者：小泉 典章（長野大学）

委員会セミナー

「こころの不調を抱える親と子どもの成長」

- 上野 里絵（東都大学ヒューマンケア学部看護学科）
北野 陽子（ぷるすあるは代表）

一般演題

口演（Zoom）、演題申込受付中、締切は9/30（土）

研究交流集会

12/2夕方、Zoom、予約不要（参加費無料）

イブニングセミナー

事例研究

12/2夕方、口演（Zoom）、演題申込締切は9/30（土）

- A. スーパーバイザー：平島 奈津子（精神科医・公認心理師）
B. スーパーバイザー：中野 真也（臨床心理士・公認心理師）

● 第39回大会HP

<https://seishin39th.jimdofree.com/>



● 日本精神衛生学会

<http://www.seishineisei.gr.jp/>



登録期間

- ・演題登録期間：2023年7月～9月30日（土）
- ・参加登録期間：2023年6月～11月27日（月）

11/11（土）までに
参加登録・ご入金いただいた方には
抄録集と記念品を郵送いたします



日本精神衛生学会第39回大会

家族と個人—家族が個人に求めるものと 個人が家族に求めるものと



「北海道の動物たち」 太田宏介 2022年

会 期：2023年12月2日（土）・3日（日）

開催方法：オンライン（Zoom）

大 会 長：上別府 圭子

（国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科家族看護学領域）

事務局長：高下 梓

（松本看護大学看護学部）

会長講演

わたしたちのライフサイクルとケアの仕事、精神療去過程など

座長：上野 里絵（東都大学ヒューマンケア学部看護学科）

演者：上別府 圭子（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科）

特別講演

思いやる心は傷つきやすい

—ケアする者へのケアの必要性

座長：上別府 圭子（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科）

演者：武井 麻子（日本赤十字看護大学名誉教授）

シンポジウム

子どもと家族の安全・安心と成長

座 長：中野 真也（国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉

マネジメント学部心理学科）

シンポジスト：三木 馨（西日本こども研修センターあかし）

児玉 久仁子（家族看護実践センター/
福島県立医科大学医学研究科博士課程）

三浦 雅子（かながわ移行期医療支援センター/
北里大学大学院医療系研究科）

人生の最終段階をいかに生き、いかに死ぬか

座 長：平島 奈津子（国際医療福祉大学三田病院）

元永 拓郎（帝京大学心理学科）

シンポジスト：宮本 典子（マエケンカウンセリングセンター）

吉野 淳一（日本医療大学保健医療学部看護学科）

近藤 和子（マザーリング&ライフマネージメント研究所）

今、支援者のメンタルヘルスを守るためにできること

座 長：三木 明子（関西医科大学看護学部・看護学研究科）

安保 寛明（山形県立保健医療大学）

シンポジスト：中嶋 義文（三井記念病院精神科）

蜂須賀 智子（地方独立行政法人 東金・九十九里
地域医療センター 東千葉メディカルセンター）

三木 明子（関西医科大学看護学部・看護学研究科）

コーディネーター：岡田 佳詠（国際医療福祉大学成田看護学部）

● 一般演題：口演（Zoom）、演題申込締切は9/30（土）

● 研究交流集会：12/2 夕方、Zoom、予約不要

教育講演

アルコール・薬物依存症からのリカバリー

—当事者の語りから紐解く依存者のリアル

座長：長田 洋和（帝京平成大学大学院臨床心理学研究科（専門職））

演者：渡邊 洋次郎（リカバリハウスいちご）

労働者の睡眠と健康（※）

座長：真船 浩介（産業医科大学 産業生態科学研究所）

演者：影山 隆之（大分県立看護科学大学）

労働者の健康問題と労災認定—精神障害を中心に（※）

座長：中野 良吾（創価大学教育学部）

演者：廣 尚典（産業医科大学名誉教授）

産業医のための職場復帰支援の在り方（※）

座長：廣 尚典（産業医科大学名誉教授）

演者：大西 守（公益社団法人 日本精神保健福祉連盟）

（※）認定産業医研修（生涯研修（専門）3単位、会場：クロス・ウェーブ府中）
12/3（日）9:00～12:20 にハイブリッド形式（対面・Web）で開催

理事長セミナー

MCRTの先にある課題—支援者の支援と学会の役割

司 会：影山 隆之（日本精神衛生学会理事長）

話題提供者：影山 隆之（日本精神衛生学会理事長）

後藤 成人（大分県立看護科学大学）

瀬戸屋 希（聖路加国際大学大学院）

指定討論者：小泉 典章（長野大学）

委員会セミナー

こころの不調を抱える親と子どもの成長

座長：加藤 純（ルーテル学院大学総合人間学部人間福祉心理学科）

演者：上野 里絵（東都大学ヒューマンケア学部看護学科）

北野 陽子（ぶるすあは代表）

イブニングセミナー

事例研究

12/2夕方、口演（Zoom）、演題申込締切は9/30（土）

A. スーパーバイザー：平島 奈津子（精神科医・公認心理師）

B. スーパーバイザー：中野 真也（臨床心理士・公認心理師）

コーディネーター：村山 志保（国際医療福祉大学大学院）

大会のご案内

【参加費】

・Web大会：会員 5千円、非会員 6千円、学部生・院生 2千円

・認定産業医研修+Web大会：6千円、先着50名

・イブニングセミナー：別途 3千円、A・Bともに先着30名
Web大会の申込と併せてお手続きください

【参加登録方法】

・大会ホームページの「参加登録」よりお申し込みください
「Payvent」でのオンライン登録・支払をお願いいたします

・11/11（土）までに参加登録・ご入金いただいた方には、
抄録集と記念品を郵送いたします

【各種ポイント・単位】

・臨床心理士 資格更新ポイント：本大会への参加形態に応じて申請できます

・日本精神神経学会専門医単位：本大会参加によりB群3単位が付与されます

・認定産業医研修：12/3（日）午前の教育講演3演題（現地開催）、
生涯研修（専門）3単位として承認されました

第39回大会

<https://seishin39th.jimdofree.com/>



日本精神衛生学会

<http://www.seishineisei.gr.jp/>





「北海道のどうぶつたち」太田宏介 2022年

日本精神衛生学会 第39回大会

家族と個人

家族が個人に求めるものと
個人が家族に求めるものと

2023
12/2・3
ZOOM開催

会長： 上別府圭子

国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科
家族看護学領域 教授

事務局長： 高下梓

松本看護大学